

平成26年2月27日

各位

会社名：古河電気工業株式会社
代表者名：取締役社長 柴田 光義
(コード：5801 東証第1部)
問い合わせ先：IR・広報部長 鈴木 治
(TEL 03-3286-3050)

日光事業所の一部工場建屋等への記録的な大雪による被害に関するお知らせ (第3報)

平成26年2月17日(月)16:00ならびに同20日(木)11:30に開示した掲題の件の現状と供給再開見込みにつきまして、第3報としてお知らせします。

1. 発生事実・日時・場所【既報】

事実：伸銅品である条関連製品等を製造しております弊社日光事業所(栃木県日光市)にて、
2月14日から15日にかけての記録的な大雪による一部工場建屋の屋根崩落等の被害が発生いたしました。

日時：平成26年2月15日(土)午前中

場所：日光事業所(栃木県日光市清滝町500番地)

2. 被害の状況【続報】

人的被害はなく、上工程の鋳造及び下工程の仕上げ関連設備に問題がなかったことは既報の通りです。調査の結果、条関連製品の中間工程である素条工程等の建屋屋根に甚大な被害があったものの、素条工程のうち重要な熱間圧延設備とその上部の屋根はともにほぼ無事であることが確認できました。現在、当該設備の点検・整備作業等を実施中です。

3. 供給再開見込み【続報】

◆ 伸銅品のうち線・棒製品

2月24日(月)より操業を再開し、その後順調に供給も再開しています。

◆ 伸銅品のうち条関連製品

① 汎用条製品；最短で3月下旬から品種毎に順次供給を再開する予定です。

② 当社オリジナル条製品；最短で4月中旬から品種毎に順次供給を再開する予定です。

中間工程の一部は当面、他社への委託による製造となりますが、製品の特性・品質等は当社が保証いたします。

なお、素条全工程の操業再開についての現段階での一次見積りでは、建屋復旧等もあり年内いっぱいかかる見込みですが、さらなる前倒しに向けて検討を続けてまいります。

お客様対応・復旧対応にあたる体制としましては、被害発生直後に立ち上げた「緊急対策本部」を発展させる形で、2月25日付で社長を本部長とする「日光雪害復旧対策本部」を設置いたしました。同本部には「製造・営業統括」「復旧支援統括」「本部運営統括」を配し、「製造・営業統括」の下に「お客様対応チーム」を設置しております。

お客様にはたいへんなご迷惑をおかけしますが、今後も復旧に向けて最善の努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

4. 業績への影響

今回の被害による当社連結業績に与える影響は調査中です。具体的な影響額が明らかになり次第、速やかに開示いたします。

以 上